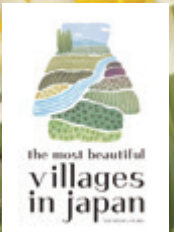


広報 ㊦
No.723
令和6年

いいたて5

www.vill.iitate.fukushima.jp





村と村民が寄贈した旧木造校舎。



平成21年の創立60周年記念紅葉祭(文化祭)。



避難に伴い平成24年から福島市に置かれたサテライト校。



本校と共通の校章。クロバトは緑の大地と農業を表し、中心の「ア」は校訓「質実剛健」と建学の精神「勤勉・勤労」を象徴しています。



14年ぶりに復活した宮内の笠踊りと手踊りが神事の中で奉納されました。



主催者を代表してあいさつする同窓会飯館支部長の伊東利(とおる)さん(関沢)。「情熱ある教育を行っていただき、3,400人の同窓生が村内外で活躍している。飯館校、そして関係者の皆様に感謝し、大切に記憶に留めたい」。

福島県立相馬農業高等学校飯館校の歩み

- 昭和24年 「大館分校」(農業科・家庭科)として開校(草野小校舎を一部使用)
- 昭和31年 村の合併に伴い「飯館分校」と改称 独立校舎を深谷地区に新築
- 昭和41年 全日制課程(3年制)となり、農業科・家政科を設置
- 昭和57年 校舎落成
- 平成元年 創立40周年記念学校祭を開催
- 平成3年 農業科を廃止し、産業技術科を設置
- 平成5年 制服改定
- 平成8年 産業技術科・家政科を廃止し、普通科を設置
- 平成11年 類型制(総合、生活福祉、産業情報、自然科学)を導入 創立50周年記念式典を挙行
- 平成15年 普通科定員40名となる
- 平成16年 3類型(総合、生活福祉、自然科学)に改編
- 平成17年 制服改定
- 平成20年 「飯館校」と改称
- 平成21年 創立60周年記念セレモニーを開催
- 平成23年 原発事故による避難に伴い福島県教育センターへ移転
- 平成24年 福島県立福島明成高等学校の敷地内の仮設校舎へ移転
- 平成29年 平成30年度以降の募集を停止
- 令和元年 創立70周年記念式典 荒天のため中止
- 令和2年 3月1日に休校式 4月1日より休校
- 令和5年 9月15日に本校に統合

飯館校では本校の校歌の4番を校歌として歌っていましたが、平成20年に「飯館校」となったことを記念して独自の歌詞を募集しました。選定には在校生が関わり、卒業生・山田幸さんの歌詞を採用。校歌のメロディで歌う「愛唱歌」が誕生しました。

校歌

やまさとはまの 幸拓(まこと)かん
智慧(ちえ)の利剣(とるぎ)を 携(たづ)ねもちて
心の玉(たま)を 磨(こ)きゆくこそ
我が学舎(まなびや)の 真(まこと)の使命(めい)

愛唱歌

碧(みどり)の山の 光射(あかり)す飯館(いいたて)は
わが故郷(ふるさと)の 心(こころ)の支え
勇気(ゆうき)と希望(きぼう) 両手(りょうて)に抱(いだ)き
進むぞ我等(われら) 願(ねが)いを込(こ)めて

平成21年10月に創立60周年記念紅葉祭(文化祭)が開催され、同記念コンサートで「愛唱歌」が歌われました。

相馬農業高校飯館校 74年の感謝を込めて 同窓会が開いた飯館校感謝祭に寄せて

福島県立相馬農業高等学校飯館校は、令和5年9月15日に本校に統合され、74年にわたる歴史に幕を下ろしました。
同校は、昭和24年に「大館分校」として草野地区に開校。飯館村が誕生した昭和31年に「飯館分校」、平成20年に「飯館校」と改称しました。平成23年には震災と原発事故による避難で福島市に移転。同24年からは同市内の仮設校舎で、飯館校サテライト校として足跡を刻みました。
同校の卒業生は約3400人。

村内唯一の高等学校として優れた人材を輩出し、また、生徒のさまざまな活動が村に活力を与えてきました。平成30年度の募集停止にあたり村立高校としての存続も検討されましたが、令和2年度からの休校期間を経て、令和5年の本校統合となりました。
同校の敷地を含むエリアが産業団地として開発される計画を受けて、同窓会の有志が感謝祭を企画。4月21日、時折ハラハラと桜が舞い散る校舎の前で神事を行い、関係者が想いを語り合いました。



レンギョウの鮮やかな黄色が春景色に映えます。

目次 CONTENTS

- 02 話題「相馬農業高校飯館校感謝祭」
- 04 特集「こども園 読書活動全国表彰」
- 08 学びの広場「入学式・入園式」
- 10 お知らせ「村の新しい顔」
- 11 ミニ特集「さくらイベント」
- 12 空から百景「春らんまん」
- 14 ほけんとふくし「集団健診」
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 村からお知らせ
- 20 いいたてイノサル通信
- 21 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 22 村民広報委員コラム ほか
- 23 愛染故郷味／ひとのうごき
- 24 ほっとNEWS／公式LINEのお知らせ

今月の表紙



大久保金一さん(小宮)が自宅周りで手入れを続ける「マキバノハナヅノ」。水仙が見頃となり、撮影におじゃましました。花を愛し花に囲まれ暮らす大久保さんは「花仙人」と呼ばれています。この日は「一度この景色を見てみたい」と千葉県から訪れたご夫婦にも出会いました。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613 までお知らせください。

「までのりの里のこども園」が、『令和6年度子どもの読書活動文部科学大臣表彰』を受けました。「子ども読書の日」にあたる4月23日、国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）で「子どもの読書活動推進フォーラム」が開催され、式典において、三品勝彦園長が、文部科学大臣表彰の表彰状を授与されました。また、塙啓世保育教諭が、受賞団体を代表して、読書活動の事例発表を行いました。

令和3年度から飯館村教育委員会の重点施策に「絵本に親しむ」ことが掲げられたことを受け、園は読書活動に、一段と力を入れてきました。さまざまな場面に読み聞かせを取り入れ、一人ひとりの興味や個性を大切に、絵本との関わりを深めていきました。また、保育活動中はもちろん家庭でも絵本に親しんでもらおうと働きかけを続けています。「体に栄

までのりの里のこども園

子どもの心を豊かに育む
読書活動

作家とのふれあい活動

柳田邦男先生といせひでこ先生によるワークショップ
雲の写真から連想して絵を描き加える活動、絵本や紙芝居の読み聞かせ、絵画指導などのワークショップ。園舎を彩る絵画を制作された、いせひでこ先生と触れ合うことで、絵本に描かれている“絵”への興味が高まりました。

絵本タイム

いいいた希望の里学園へ出向き、1・2年生に絵本を読んでもらう「移動絵本タイム」。3歳児から5歳児が、おすすめの絵本を選び、みんなの前で読み聞かせを行う「合同絵本タイム」。3歳未満児が午睡（昼寝）前に行う絵本タイム。保育参観に行う「親子絵本タイム」があります。

午睡前の絵本タイム



保育参観で親子絵本タイム



柳田先生・いせ先生のワークショップ

親子読書の啓発
絵本専門士の講演「デジタル時代における親子の関わり方～親子をつなげる絵本の力～」、保育教諭が親子役で読み聞かせのロールプレイを行う「読み聞かせ講座」などを開催。また、「えほんだより」などを通してさまざまな絵本を紹介。「読み聞かせの木」は保護者間で絵本の情報を共有する楽しいツールです。

絵本貸し出し
玄関ホールに保護者向けの本を含む貸し出しコーナーを開設。3歳以上児の学級では週に1回・2冊ずつの貸し出しを行っています。また移動図書館（県立図書館・南相馬市立図書館）による貸し出しも行っています。
園の2,150冊の蔵書をデータ管理。また、子ども達が自分で本を探せるよう種類毎に色シールを貼り分類を掲示しています。

保育中での絵本活用
昆虫や植物などを図鑑で調べ、野菜の栽培や生き物の飼育に役立てています。絵本を見て、折り紙遊びやごっこ遊び、工作、劇遊びなども楽しみます。また、トイレトレーニングや歯磨き指導など生活習慣の獲得にも活用。英語活動ではALTの先生の読み聞かせも楽しんでいます。
毎年の生活発表会で絵本を題材にした発表を行いモチーフの絵本を紹介しています。



合同絵本タイム



えほんだより

移動図書館



保育教諭が親子役でロールプレイ

読解力を高める発問を実演



「読み聞かせの木」で保護者同士が絵本の感想を共有



絵本を見ながら工作



英語活動での読み聞かせ

個人や企業からさまざまな絵本の寄贈をいただいています

個人や企業の皆様から、「までのりの里のこども園」や交流センター「ふれ愛館」に、毎年たくさんの絵本や児童書を寄贈していただいています。子ども達の心豊かな成長を願い、読書環境の充実を応援して下さる皆様、本当にありがとうございます。さまざまな視点から選ばれた本が加わることで、蔵書がより充実しています。

本を贈っていただいたお二人に、寄贈に込めたお気持ちを聞きました

思いが行き違い、互いに悪意がないのに関係を悪くしてしまう…今起きている戦争にも、日常的なできごとにもあることです。相手の気持ちを理解すること、思いやりを持って人と関わることの大切さを教えてくれる絵本に出会い、子ども達に贈りたいと思って寄贈させていただきました。私も小さな頃に読んだ絵本がずっと心に残っています。受け止め方は一人ひとり違うと思いますが、幾人かでも心の内に届いてくれたらな…と願っています。



長谷川圭子さん(宮内)

保育教諭時代、受け持つ子ども達の興味や、季節に合わせて読みたい絵本を購入しているうちに、自宅の本棚がいっぱいになっていました。こども園を退職し、手元に置くより園で活用していただこうと250冊ほど寄贈させていただきました。絵本は、言葉の発達を促すと共に、登場する動物に興味を持ったり、人との関わり方を学んだり、感性も育んでくれます。子ども達が絵本を大好きになってくれたらうれしいです。



齊藤ひろみさん(深谷)



こども園の貸し出しコーナーにて

子ども達は、毎日のように、それぞれ好きな本を選んで借りて帰ります。自分が楽しんだ後は、交換して読んだり、先生や上の子を真似て読み聞かせをしたり、「ここが面白かった」と感想を共有したりしています。園でたくさん借りられて、さらに南相馬図書館(移動図書館)の本も借りられて、とてもいいですね。子ども達は本当に絵本が好きで、私も絵本や本のある暮らしを楽しんでいます。

保護者の声



まさか 真柴優佳さん(飯樋町)

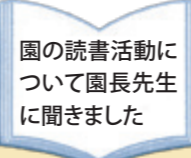
年少児の一楓(いぶき)君、年長児の紬(つむぎ)ちゃん、卒園児で小学4年生の鳳士(ふうと)君のママに聞きました。優佳さん自身も本が大好き。子どもの頃、サンタさんのプレゼントも毎年、本だったそうです。

「おはなし会」で読み聞かせ
読書アドバイザー
長正サツキさん(大久保・外内)

令和3年度から、読み聞かせをさせていただいています。聞き手となる子ども達の年齢や興味・関心に合わせて絵本を選び、交流を楽しみに足を運んでいます。いつうかがっても本を開くと子ども達の目が輝いて、聞き手が上手なことに驚かされます。読み聞かせが浸透してすこいなど先生活方を尊敬しています。現代は、昔と違って、スマートフォンなどでメディアに触れ、映像を見る時間が長くなりがちです。だからこそ「本」の楽しさを知ってほしいし、おすすめしたいと思えます。お母さんが本を好きになったら、子どもも本が好きになります。ぜひ子どもさんと一緒に絵本の楽しさを共有していただけたらと思います。



飯館村は以前から本に親しむことを大切に読書推進活動に取り組んできました。現在は交流センター「ふれ愛館」にて図書の新着出しを行っています。しばらく読書から遠ざかっていた方も改めて本に触れ読書の楽しさに浸ってみませんか。



**までのりの里のこども園の読書活動
先生方の熱意と工夫が大きな成果を生んでいます**



までのりの里のこども園 園長 三品勝彦 先生

令和3年度に飯館村教育委員会が重点施策に「絵本に親しむ」ことを掲げました。これを受けて、園は、これまで培ってきた絵本の活動に、さらに一歩踏み込んだ形で取り組むことになりました。デジタル機器が身近にある現代の子ども達。スマートフォンに子守りをさせる「スマホ子育て」などという言葉も聞かれます。映像メディアに夢中になり加速する活字離れも課題となっています。そうした中、全国学力テストの数学のテストで、文章題を読み進め、段階を踏んで回答を導くような問題が出されるようになりました。また、大学入学試験の数学の問題にも、リーディングスキルを問う出題がみられます。このような背景を持って、絵

本に親しむことから読む力、考える力を身につけていこうという故・遠藤哲教育長の発案でスタートしたのが「絵本に親しむ」重点施策と聞いています。スキヤモン発達曲線(身体の発達を4つの型に分けて、0〜20歳までの発育量の推移をグラフ化したもの)によると、子どもの脳は6歳までに急速に発達していきます。この時期に、よい絵本を与えていくことは、読む力、考える力を養う上で非常に大切であると考えられます。園の先生方は、「絵本に親しむ」ための優れた手法を次々に考え出し、実行してきました。読み聞かせの講座で、考える力を養う発問の仕方、先生方が親子役で実演したり、読んだ絵本の感想を保護者が伝え合う「読み聞かせの木」を考案したり、素晴らしいアイデアを形にして、「一歩一歩」絵本に親しむ園の姿がつけられてきました。先生方が本気で考え進めてきたことが、確かな成果を生み、今回の受賞につながったものと考えています。



までいの里のこども園 入園式

こども園では、4月9日、園の「わんぱくほーる」で入園式を行い、6人の新入園児を迎えました。



こども園には、0歳児2人、1歳児2人、3歳児1人、5歳児1人の合わせて6人が入園し、入園式には4組の親子が出席しました。式は、かわいらしい装飾が彩るホールで行われました。三品勝彦園長が式辞を述べ、「ワクワクしたりドキドキしたり、楽しいことがたくさんあります。毎日元気



▲高橋祐一教育長職務代理者の告辞。式には多くの来賓の皆さんが出席。
◀入園式を欠席したお友達も元気に登園しています。

に登園してください」と新入園児を笑顔で歓迎。保護者の皆さんには「(家庭と園が)しっかりとつながり、心を二つに子ども達を育てていきます。何でも気軽に話しかけたい」と語りかけました。また、年長児がこども園の園歌を堂々と披露し、新しいお友達を歓迎しました。

いいたて希望の里学園 入学式

4月8日、いいたて希望の里学園の入学式が、同校体育館で行われ、5人の新1年生が入学しました。



教科書授与。新1年生を代表し高橋蒼尊さんが校長先生から真新しい教科書を受け取りました。

義務教育学校「いいたて希望の里学園」で、5回目となる入学式が行われました。少し大きめの制服に身を包み、式場の体育館に入場してきた新1年生を、在校生が温かな拍手で迎えました。亀田邦弘校長が「この学校はワクワクドキドキしながら学べる場所。学ぶことの楽しさ

と大切さを知ってほしい」と笑顔で交えて式辞を述べました。また、在校生を代表して、宮里総晴さん(6年生)が「新入生の皆さんの入学を心待ちにしています。困った時には先輩や先生がサポートしてくれます。安心して登校してください」と歓迎の言葉を述べました。



子育て 全力応援!

子ども達の学びを支え、ご家庭を応援するさまざまな制度があります。

- 小学校入学時 子育て応援支援金 10万円
(小学校及び義務教育学校並びに特別支援学校小学部入学時に支給する子育て応援支援金)
- 中学校入学時 子育て応援支援金 10万円
(中学校及び義務教育学校並びに特別支援学校中学部入学又は進学時に支給する子育て応援支援金)
希望の里学園では前期課程から後期課程に進級する際に対象となります。
- 高等学校入学時 子育て応援支援金 20万円
(高等学校及び特別支援学校高等部入学時に支給する子育て応援支援金)

対象となる方

- 父または母の住所が村にあり、かつ子どもも村に住所がある方。
村に住所があれば村外の学校に通う場合も対象です。
- いいたて希望の里学園に入学、進級する方。
希望の里学園の児童生徒は村に住所がない方も対象です。

問 健康福祉課福祉係 ☎0244-42-1633

高等学校等の通学費等の助成も行っています。条件等の詳細は教育課学校教育係までお問い合わせください。

問 教育課学校教育係 ☎0244-42-1631



前列左から、浅野壮平先生、松本大光教頭先生、亀田邦弘校長先生、青山繁雄先生、川前久美先生。
後列左から、清信律子先生、紺野江里先生、飯塚崇先生、菅野大輔先生、菅野亮先生、山本美和子先生。

学園に着任された先生方を紹介します。令和6年度、新たに着任された先生方を紹介します。先生方の着任式は4月2日に村役場で行われました。式の最後に行われた自己紹介では、先生方が村の子ども達への思いや新年度の抱負を語り合いました。

ミニ特集 さくらイベント

花盛りの飯館村で桜を愛でるイベントが開かれました。



飯館復興三千本の桜

會田征男さん・ツタ枝さん夫婦(伊丹沢)が自宅周りに桜を植え、千本、二千本とその数を増やしてきました。震災後は各地から訪れるボランティアが植樹や手入れを手伝いました。長い時間とたくさんの人の想いが幾重にも重なる桜の園です。4月13日・14日の「復興桜まつり」は出店やステージイベントで賑わい、村民有志のグループ「ふらっと」(大内亮代表/八木沢・芦原)によるライトアップも13日に行われました。14日にはJR福島駅の企画「桜めぐりツアー」の参加者も来場しました。



桜まつりにて、訪れる人を明るく迎える會田さん夫婦。

大雷神社の桜

大雷神社の桜並木で、4月14日の夕方から、「いいいたて大雷神社の小さな桜まつり」が開かれました。「飯館復興三千本の桜」のライトアップと同じく村民有志のグループ「ふらっと」の企画です。キャンドルの灯りが揺れる境内はいつもと違った雰囲気。スープやドリンク、スイーツなどの出店は桜並木の下に並びました。訪れた人々はくつろいだ様子で、夜桜と共に、出店した皆さんの温かなもてなしを楽しんでいました。




令和6年4月1日から採用となった村職員と、応援をいただく国・県などからの派遣職員の皆さんを紹介します。



少しでも、飯館村の復興・発展に貢献できるよう頑張ります。

まつぼろ せいいちろう
松原 誠一郎
小宮行政区出身
飯館村新採用任期付職員
産業振興課農政第一係


釣り(ルアーフィッシング)



村民の皆様、先輩方のご指導の下、わくわくする村づくりに携わり、成長できるよう頑張ります!

さかいだ みお
境田 実桜
南相馬市出身
飯館村新採用職員
健康福祉課健康係

運動とゲームと推し活



役場職員として村民の皆様暮らしを支えられるよう努めてまいります。

なみま たくみ
波間 琢海
宮城県大和町出身
飯館村新採用職員
住民課税務係


キャンプ



県からの出向で参りました。飯館村の営農再開のために頑張ります!

かまた たくろう
鎌田 拓郎
福島市出身
福島県から出向
産業振興課農政第一係

釣り・テニス・サイクリング



飯館村のきれいな風景からパワーをもらい、みなさんのお役に立てるよう頑張っていきます!

やまもと ちか
山本 千夏
二本松市出身
福島県駐在
村づくり推進課


音楽鑑賞 散歩



飯館村のことをよく知りふれあって、国との橋渡しができるよう頑張りたいです。

ふくだ ゆうき
福田 結貴
宮城県門川町出身
復興庁駐在
総務課

県内くまなく巡ることを趣味にできれば



震災後に任期付職員として業務に携わった経験を活かし飯館村でも役に立てるよう頑張ります。

きくち たけよし
菊地 剛義
宮城県南三陸町出身
福島県任期付職員
建設課建設管理係


家庭菜園(収穫できた野菜の味は格別)



村の力になれるよう、1日1日大切にしながら業務に邁進していきます。よろしくお願いします。

ひなた げん
日向 玄
埼玉県行田市出身
東京都台東区応援職員
村づくり推進課企画定住係

読書(特にSF) トレーニング ゲーム



村民の皆様のお役に立てるよう、精一杯がんばります。

ほしかわ たかし
星川 隆
山形県大石田町出身
農林水産省応援職員
建設課農業基盤再生係

温泉めぐり



着任の意気込みと皆さんの趣味を聞きましました

いづか ひでお
飯塚 英夫
岐阜県下呂市出身
福島県任期付職員
建設課農業基盤再生係

スポーツ観戦・音楽鑑賞・鉄旅・温泉めぐり

そこら中に種まくこと

どうぞよろしくお願いいたします!



宮城・岩手での復興支援業務の経験を活かし、福島県飯館村の復興に役立ちたいです。

はまもと てつや
濱本 哲也
東京都練馬区出身
福島県任期付職員
建設課農業基盤再生係

温泉



微力ながら飯館村の将来に繋がるよう一所懸命日々の業務に携わって参ります。

はまもと てつや
濱本 哲也
東京都練馬区出身
福島県任期付職員
建設課農業基盤再生係

温泉ドライブ



長泥の桜(長泥)



飯館復興三千本の桜(伊丹沢)

空から
百景

春らんまん



大久保金一さんの「マキバノハナゾノ」(小宮)



多田直正さんの「小さな花見山」(宮内)

● 集団健診のみ受けられる項目

項目	推定食塩摂取量検査	胃がんリスク検査	喀痰細胞診
対象	16歳以上	40歳・41歳 *令和6年度から検査項目に含まれました!	50歳以上の基準該当者 1日のたばこ本数 ×喫煙年数 =600以上の方
検査方法など	尿検査 尿中ナトリウム値を調べ、年齢・身長・体重と共に計算式にあてはめ、前日の食塩摂取量がわかります。	血液検査 ピロリ菌感染の有無と胃粘膜の萎縮を調べ、胃がんなどの胃疾患にかかるリスクを判定します。	3日分の吐き出した痰を顕微鏡で調べます。気管支の周りにできた、がん細胞の一部が痰にまぎれて出てくるものを調べます。

自分の体は自分で守る！ 令和6年度集団健診のご案内

いいたて活性化センター「いちばん館」で、集団健診を実施します。健診は、自分の体の状態を知ることができる機会であり、生活習慣病の早期発見・早期治療にもつながります。ご自身とご家族のために、健診の機会を大切にしましょう。

● 健診会場

いいたて活性化センター いちばん館

飯館村伊丹沢字伊丹沢571

☎0244-42-1637 (健康福祉課健康係)



● 健診日程 ※予約は不要です。

	6月20日 木曜日	6月21日 金曜日	6月23日 日曜日	6月24日 月曜日	6月25日 火曜日	6月26日 水曜日
午前8時～9時	比 曾	飯 樋 町	平日の受診が困難な方が対象となります ※23日のみ ※11時まで	小 宮	深 谷	白 石 前 田
午前9時～10時	上 飯 樋	宮 内		関 沢	草 野	蕨 平 関根・松塚
午前10時～11時	長 泥	前田・八和木 大久保・外内		八木沢・芦原 大 倉 佐 須	伊 丹 沢	二枚橋・須萱
午前11時～11時30分	上記行政区のうち、 胃がん検診を受けない方			上記行政区のうち、 胃がん検診を受けない方		

混雑を避けるため行政区ごとに日にちを分けていますが、都合がよい日程で健診を受けることができます。

医療機関での健診を希望される方は、5月下旬に送られる「令和6年度総合健康診査のお知らせ」をご覧ください。村の集団健診・医療機関での健診を希望される方で、6月になってもお知らせが手元に届かない場合は、健康福祉課健康係☎0244-42-1637までご連絡ください。福島県外に避難されている方には、7月に県外健診のお知らせをお送りします。

本田先生に聞く

うた
「ころとからだといのちの詩」

最終回 村民健診のお勧め

いいたてクリニック 本田 徹 先生

ご自身の健康への気づきの機会に



今年も村民集団健診が、6月に行われます。飯館村に住まわれているか、村外にお住まいかを問わず、普段かかりつけの医療機関からお薬などをもらっている方は多いと思います。よくお聞きするのは、「どここの先生にいつもかかっているから、健診は受けなくても大丈夫だろう」というお話です。でも少し待ってください。確かに多くの患者さんは、高血圧とか糖尿病とか、あるいは整形外科の病気とかで受診されていて、その点は大丈夫なのですが、ほかの病気が、とくにがんなどについては、主治医がいつも目配りして、診てあげているわけではないのです。その意味で二年

一度は、総合的に健康診断を受けた方がよいと思います。飯館村民については、現状、たとえば、胃がん、子宮がん、乳がんなどの健診率は、対象者の3割にも達していません。もう一つ、お伝えしたいのは、多くの飯館村民がそうであるように、国民健康保険の保険証をお持ちの方は、一般に、企業などの社会保険に入っている方に比べて、健診や健診結果に基づく保健指導をお受けになる割合が、20%以上低くなるのが長年続いていることです。半ば義務として、会社の産業医などによる事後指導を受ける機会が少ないことも理由です。住民の健康レベルを上げるためには、農山村部の健診率の改善が、国民的課題と言えます。自分の体は自分で守る。この原則を大事にして、皆さんがぜひこの機会に、健診をお受けになることを勧めたいと思います。

「ころとからだといのちの詩」は今回が最終回です。クリニックでの診療に加えて訪問診療にもご尽力いただいている本田先生。日々お忙しい中、隔月の連載にご執筆をいただき、本当にありがとうございました。

商業施設の建設工事を前に安全祈願祭が行われました



地権者や地域・各行政区のご理解のもと、施設の整備が進められることに感謝を伝える杉岡村長。

公設民営型の商業施設が草野地区に整備されます。建設工事の着工を前に、4月11日、現地で安全祈願祭が執り行われました。この商業施設は、鉄骨平屋建てで延べ床面積が約1,300㎡。村と協定を結ぶ株式会社ハシドラッグが出店し、令和7年春に開業する予定です。安全祈願祭を終え、関係者を前にあいさつした杉岡村長は「総合計画の基本方針に掲げる“新しい豊かさを感じる村”を目指し、村民の買い物環境の向上に向けて一丸となって取り組みたい」と述べ、思いを一つに事業に当たることを呼びかけました。

飯館村消防団の皆さんが能登半島地震に善意の寄附



赤石澤団長(右側)が来庁し、日赤県支部飯館分区分代理の高橋副村長に義援金を手渡しました。

飯館村消防団(赤石澤傳団長/飯樋町)の団員の皆さんが、能登半島地震の被災地を支援しようと、募金と寄附を行いました。

同消防団は、団員145人が1,000円ずつ出し合っで集めた14万5,000円を、日本赤十字社福島県支部飯館分区分に寄託し、被災地に送りました。3月29日に村役場を訪れた赤石澤団長が、飯館分区分代理の高橋副村長に義援金を手渡し、「飯館村は多くの支援をいただいて復興してきた。少しでも役立てていただければ」と寄附に込める思いを述べました。

飯館村食を考える会 新年度の総会・交流会を開催



招かれた交流会の席であいさつする杉岡村長。会員の皆さんとランチを囲み、意見を交わして交流しました。

4月15日、『飯館村食を考える会』が令和6年度の総会と交流会を開きました。会場は、地域おこし協力隊の横山梨沙さんが、カフェ「CoffeePourHouse」にて水・木・金曜日にランチを提供する「コーヒー屋の食堂」です。菅野一代会長(比曾)は、食生活改善推進連絡協議会の県の会長も務めています。総会のあいさつで、今年10月に郡山市で同協議会の全国大会が開催されることに触れ、「食を通して復興の歩みを伝えられるよう取り組んでいきましょう」と呼びかけました。会では、一緒に活動する会員を随時募集しています。

飯館電力株式会社 「陽はまた昇る基金」に寄附



3月29日に菅野社長(中央)と取締役の荒利喜さん(右端/飯樋町)が来庁。杉岡村長に目録を手渡しました。

飯館電力株式会社(菅野宗夫代表取締役社長/佐須)から、飯館村の「までの村陽はまた昇る基金」へ19万6,000円の寄附をいただきました。この基金は、村民の営農再開や企業の事業再開、教育や福祉の充実などに充てられるものです。

平成26年に村民有志が“自立と再生”を掲げて設立した同社は、飯樋地区に本社を、福島市に支社を置き、再生可能エネルギー事業を行っています。昨年10月にもチャリティ村民ゴルフ大会を開催し「いいたてっ子未来基金」に寄附をいただいています。

飯館村消防団春季検閲式及び消防車両交付式・配備式を開催



消防飯館分署駐車場で行われた春季検閲式(上)と消防車両交付式・配備式(左)

4月21日、南相馬消防署飯館分署の南側駐車場で『令和6年飯館村消防団春季検閲式』が行われました。式には消防団員73人、役場消防隊7人の計80人が参加。杉岡村長があいさつし「村民の厚い信頼と期待に応え非常に重要な任にあたっただけに感謝を伝えました。」と団員・隊員に感謝を伝えました。

また検閲式の後に「消防車両交付式・配備式」では、2台の小型動力ポンプ付積載車が交付され、それぞれ第2分団第5部(長泥地区)、同第6部(蕨平地区)に配備されました。

鳥獣被害対策実施隊編成会議 今年度の活動をスタート



村内パトロールの他、要請に応じた追払い活動なども実施。有害鳥獣の捕獲で大きな成果を上げています。

4月4日、村役場で『飯館村鳥獣被害対策実施隊』の編成会議が行われました。会議では、3人の新メンバーを含む24人の隊員に、杉岡村長が委嘱状を交付。互選により、隊長に原田直志さん(深谷)、副隊長に高野秀春さん(大倉)が、どちらも再任で選出されました。また、ニホンザルの捕獲を重点的に行う「サル駆除プロジェクト」のプロジェクトリーダーも原田隊長が務めることになりました。

実施隊は、同日、綿津見神社で安全祈願と出発式を行い、今年度の活動をスタートしました。

わくわく農業体験塾

参加者募集!

交流を深め、野菜づくりを楽しもう!

飯館の豊かな自然に触れて、農業体験を満喫する『わくわく農業体験塾』。野菜づくりを通して、参加者同士が交流を深めます。

第1回実行委員会

6月1日(土) 午前9時30分～正午(予定)
交流センター「ふれ愛館」視聴覚室

参加費 無料



持って来てね

実行委員会終了後、飯桶地区の畑で、キュウリやトマトの苗植えなどを行います。手袋と長靴を持参してください。

※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

問 生涯学習課 ☎0244-42-0072

軽食処やまぼうし OPEN!

6月30日まで特別価格で提供中

宿泊体験館きこり内の軽食処『やまぼうし』が5月1日にオープンしました。

やまぼうし

営業時間 午前11時～午後2時

※日帰り入浴は通常通り営業しています。

6月30日までオープニング記念の特別価格。麺類等を100円引きで提供しています。



問 宿泊体験館きこり ☎0244-42-1012

いいたてホームで手づくりの結婚式



4月17日、いいたてホームで、素敵な結婚式が開かれました。新郎新婦は共に飯館村出身で、ホームで働く調理師さんと介護士さん。職員の皆さんが会場の装飾などを手づくりし、入居者の皆さんと共に2人の門出を祝いました。

会場は屋外に設けられ、満開の桜が式の様子を見守りました。入居者の皆さんもアットホームな式を笑顔で楽しみ、2人を祝福しました。

新郎新婦は式の終わりにあいさつし「素敵な会を開いていただき本当にありがとうございます。これからも皆さんと一緒に楽しく仕事をしていきたいです。力を合わせて頑張りますので、これからもよろしくお願ひします」と感謝を伝えました。



ウエディングケーキは厨房スタッフが製作!

4月の村の動きと主なできごと

- 1日・飯館村役場職員辞令交付式及び村長訓示(交流センター「ふれ愛館」)
- 2日・転任教職員着任式(村役場)
- 4日・飯館村鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式及び編成会議(村役場)
- 5日・春の全国交通安全運動に伴う出動式(南相馬市・ジャスマール)
- 8日・いいたて希望の里学園入学式(いいたて希望の里学園)
- 8～15日・交通安全啓発活動(村内各所)
- 9日・までのりの里のこども園入園式(までのりの里のこども園)
- 11日・商業施設建設工事安全祈願祭(草野地区現地)
- 14日・飯館村消防団 合同訓練(飯館分署駐車場)
- 19日・農業委員会定例総会(村役場)
- 21日・いいたてスポーツクラブ総会(いいたてスポーツ公園)
- 21日・飯館村スポーツ推進委員会(いいたてスポーツ公園)
- 21日・飯館村消防団春季検閲式(飯館分署駐車場)
- 23日・子ども読書活動推進フォーラム(までのりの里のこども園文部科学大臣表彰(東京都渋谷区・国立オリンピック記念青少年総合センター))
- 24日・行政区長副区長会議(交流センター「ふれ愛館」)
- 25日・飯館村議会第3回臨時会(議場)
- 25日・定例教育委員会(村役場)
- 28日・第43回春日部藤まつり 出展(埼玉県春日部市)
- 30日・あぶくま口マンチック街道沿線自治体連絡協議会(浪江町・津島活性化センター)

飯館の花々がポストカードに

「ふくしま再生の会」(田尾陽一代表/佐須)のメンバー森本晶子さん(写真右/大阪府)と染木泰子さん(東京都)は会の活動の傍ら村内で植物の写真を撮りためています。会はこれまで、その貴重な写真の数々でポスターやパンフレットを製作。さらに今回、12枚組のポストカードが完成しました。「身近な自然に興味を持っていただけたら。ポストカードを受け取る方にも飯館の魅力が伝わりますように」とお二人。ポストカードは会の催しなどで配布していく予定です。



「屋根裏アトリエ森の音」の古もの市

安藤千恵美さんが、『屋根裏アトリエ森の音』で、4月13・14日に「古もの市」を開きました。外内地区の実家の納屋を3年がかりのDIYで修繕。「飯館のこの場所で何かできたら」と温めてきた思いが形になりました。アトリエには、ライフワークで集めてきたアンティークの食器や雑貨を展示。お気に入りとの出会いをゆっくり楽しめる今回のような催しを今後も企画していく予定です。



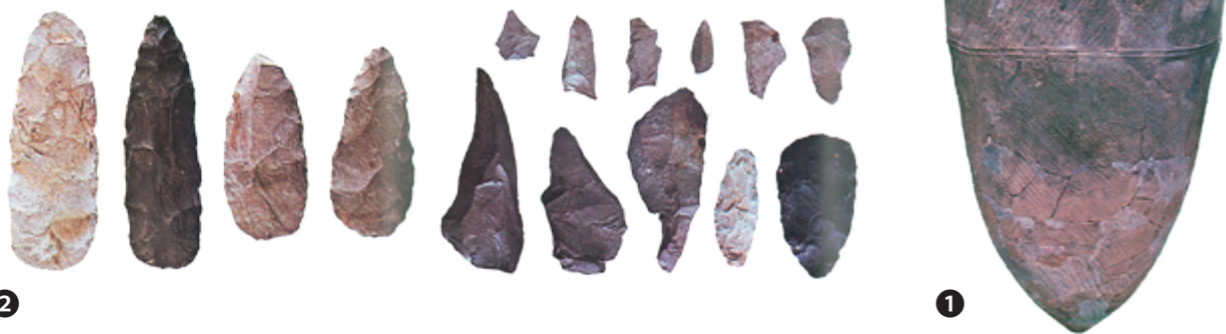
紀元前の昔から 飯館村の考古資料

歴史の散歩道

参考・写真転載：飯館村史第1巻 第2巻
参考：飯館村村勢要覧合併40周年記念誌

飯館村では、先土器時代（旧石器時代）から縄文時代の遺跡や考古資料が多数発見されています。先土器時代とは、人々が石や木で作った道具を使って狩や漁をしたり、植物や木の実を採集したりして暮らしていた時代で、非常に寒い気候（氷河期）にあったと言われています。縄文時代は紀元前1万3000年頃から約1万年以上続いた時代で、作られた土器の特徴などから草創期・早期前期・中期・後期・晩期の6期に分けられます。飯館村では今から約1万3000年前、先土器時代のナイフ形石器が「大倉松ヶ平A遺跡（大倉地区）」から出土。「大坂遺跡（草野地区）」では同時代末期から縄文時代早期のものと思われる大形打製石斧が出土しています。一方、「赤石沢遺跡（前田・八和

木地区）」では約8000年前の縄文時代前期の地床炉（窪みをつけた簡易な炉）4基が出土。縄文時代中期の集落跡「上ノ台A遺跡（大倉地区）」では複式炉（火を焚く場所が複数ある炉）を持つ堅穴住居が数多く発見されています。これら多数の遺跡や資料から、この地に非常に古い時代から人の営みがあったことが分かっています。また、縄文時代の遺跡が100か所以上発見されているのに対して、弥生時代の遺跡は「岩下A遺跡（大倉地区）」の水田跡のみ（令和6年4月現在）です。当時の農耕技術による食糧生産を中心とした弥生文化を、冷涼な気候のこの地で受容することが困難だったのではないかと考察されています。



② 大坂遺跡から出土した石器群の一部で、石斧、削器、剥片。大坂遺跡の大形打製石斧は全面打製で、部分的にも磨いた跡がないという特徴を持っています。
① 滝下遺跡（前田・八和木地区）から出土した縄文早期の「条痕文尖底土器」。底部を地面に突き刺したり石で囲んだりして煮炊きをしたと考えられています。

本を開けばことわざと慣用語が無
限に続いていくコミカルな絵本。見た
だけでその言葉の意味が分かる「なる
ほどな！」と思わされる1冊。思わず声
に出して読みたくなりますよ。



「むげんことわざものがたり」
大串ゆうじ 作
偕成社

あなたはひざに痛みがありますか？
ひざが痛む人も、そうでない人も手に
取って読んでほしい1冊。どうやら人は
自分自身で治す力を持っているよう
です。自分の足でずっと歩くためにこの本
を読んで、ひざを長持ちさせましょう。



「100年ひざ」
巽一郎 著
サンマーク出版

リクエスト本
からご紹介！

交流センターでは、利用者
の方から図書購入のリクエ
ストを受け付けています。気
なる本があれば、ぜひリクエ
ストしてみてください。

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」
からのお知らせです。

13
いいたて
イノサル通信

捕獲：担い手と令和5年度の結果

飯館村鳥獣被害対策実施隊

皆さんは、飯館村に鳥獣被害対策実施隊（以下、実施隊）という組織があることを知っていますか？鳥獣被害対策の一つとして重要である、捕獲作業に主に従事されている方々です。令和6年4月4日に委嘱状交付式や出発式があり、今年度は24名の方々が実施隊として活動されます。捕獲などの作業だけでなく、月1回の定例会があり、捕獲による被害軽減を目指し、村の担当者と様々な相談等を行っています。なお、この定例会には、福島県避難地域鳥獣対策支援員も出席してもらい、調査結果等の情報提供をしています。

実施隊の
主な活動内容

- 捕獲 ▶ わなの設置、見回り、捕獲個体処理
- ニホンザルなど追い払いのためのパトロール
- 定例会（月1回）



綿津見神社での出発式



射撃訓練を行い技術向上に努めています

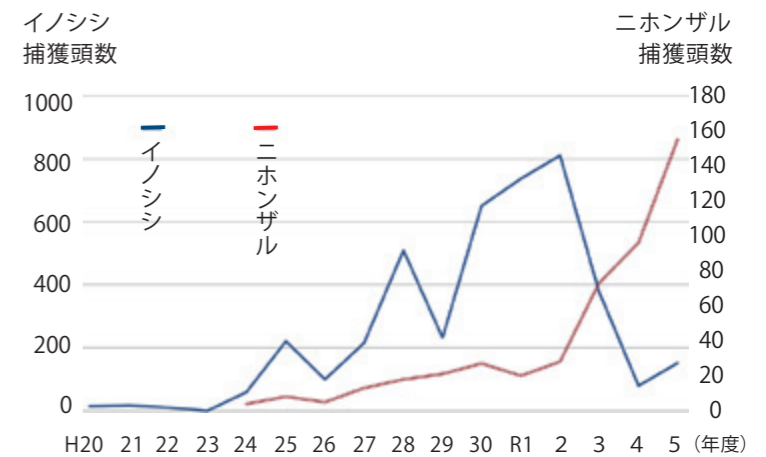
令和5年度捕獲結果

実施隊は、イノシシ、ニホンザル、ハクビシン、アライグマ、タヌキ、カラスなどを対象に捕獲を行っています。令和5年度は、イノシシ151頭、ニホンザル155頭を捕獲しました。

イノシシの捕獲頭数は、一時期より減少していますが、昨年度の80頭から比べると増加しており、生息数が増えている可能性があります。ニホンザルの捕獲数も増加していますが、こちらは生息数が増えたというより、捕獲の取り組みが推進されたためと考えられます。

どんな動物も捕獲だけで被害を減らすことは難しいです。皆さんも放任果樹や収穫残渣（ざんさ）などの餌になるものを減らすなど、少しずつでも取り組んでみましょう。

イノシシとニホンザルの捕獲数推移



イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する鉄谷さんからのお知らせです。



福島県避難地域鳥獣対策支援員
鉄谷 龍之 さん

平成31年4月から同支援員。令和3年から飯館村の鳥獣対策に携わり、同5年度から村の主担当。専門は野生動物管理・鳥獣被害防除。

咲き誇る桜、子ども達の輝く笑顔
ワクワクが広がる新年度に

第21回

杉岡 誠 村長の
愛楽故郷味
あいらくふるさとみ



4月は桜を堪能いたしました。村役場からほど近い伊丹沢地区の「飯館復興三千本の桜」は、年々有名になっています。村でも公式LINE(アカウント名「飯館村」/アカウントID @itirate_village)や公式インスタグラム(アカウント名 e_village_life_itirate)で、日々の開花状況を発信していましたが、テレビでの全国生中継やJ.R.東日本のツアーなどと相まって、大変多くの方々がお越しくださいました。多くの皆さまに愛される「待ち遠しい」桜スポットになっています。新学期が始まり、いたて希望の里学園や、までの里のこども園にも元氣な声が響き渡っています。お子様は村の宝です。ワクワク楽しみながら、新年度もお友達と沢山遊び、遊び、健やかに成長されることを願っています。飯館村独自の子育て支援策も、ぜひ有効にご活用ください。村では現在、「地域おこし協力隊」を2つの形で募集しています。名称は「起業型(フリーミッション型)」と「企業雇用型(パートナードリブ型)」です。フリーミッション型は、隊員自らが提案する個人起業に向けての構想を『村が採用して隊員に委託する』手法で、これまでマーケティング(図倉倉庫)、山の向こうから、工房マートル、コーヒーパーアハウス(コーヒーマスターの食堂)、洋菓子ブランドコチットなどの活動に繋がっています。また村独自のパートナードリブ型は、『地域の事業者さんに雇用される方を村が隊員として承認』し、村内の企業・事業者様と一緒になって地域おこしに邁進していただく制度となります。村としても、企業・事業者様としてもウインウィンとなるよう、地域おこしの活力となる担い手を育てていきます。多様な形態での活動が、飯館村の地域おこし協力隊の魅力であり、豊かな氣風の源泉となっています。今後も多くの方々に、その活動事例をお示ししていきたいと思っております。

いよいよ来春のオープンに向けて、旧Aコープ跡地での公設民営型「商業施設(株式会社ハシドラック様)」の工事が始まりました。7月には、きこりの隣に新しい研修施設(宿泊棟)がオープンします。また蔵平地区の「飯館みらい発電所」も本格稼働します。今後も、皆さまのワクワクに繋がる取り組みを深めて参ります。

■ ひとのうごき

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
菅野 晴くん	佳祐さん 彩夏さん	比曾

HAPPY BIRTHDAY! 🍀

ひとのうごき 令和6年4月1日現在

人口	今月(前月比)	3月1日~31日までの人口動態
●男	2,332人(-22)	転入 6人
●女	2,276人(-30)	転出 49人
計	4,608人(-52)	出生 0人
世帯数	1,802戸(-15)	死亡 13人
(住民基本台帳人口)		

(3月21日から4月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
上田 哲夫 さん	81	草野
菅野 宗光 さん	95	草野
菅野 ミツ さん	94	比曾
星 志保 さん	96	上飯樋
佐藤 キヨノ さん	93	大倉
佐藤 スミイ さん	87	関根・松塚
高橋 一成 さん	64	関沢
菅野 貞子 さん	92	佐須

ご冥福をお祈り申し上げます 🌸

3ど
いいたての暮らしをつなぐステーション

飯館村へようこそ。
私たち「3ど」は、
村民と移住者・移住希望者をつなぎ、
この村の暮らしをつなぐステーションです。
1度目は、ふらりと遊びに来てほしい。
2度目は、村の誰かに会いに来てほしい。
3度目からは、飯館村での暮らしや仕事を
想像して訪れてほしい。



「いいたて移住サポートセンター」の愛称が決まりました。『3ど』は、村民と移住希望者をつなぐ場所。移住に関すること、飯館村のこと、さまざまな情報を発信していきます。どなたでも、どうぞ気軽にお立ち寄りください。



飯館村伊丹沢字伊丹沢578番地1(まていな家)
☎0244-68-2850 ※電話番号も新しくなりました
平日午前9時~午後5時30分※土日祝日は予約制
✉ iju@iitatelife.jp

村民広報委員 富士男の



田んぼの思い出!!

とうとう春になって、とうとうこの飯館村にも色々な花が咲き誇り、カエルの鳴き声のする田植えの季節になりました。昔を想ってみれば、懐かしい田植え仕事の情景が浮かんできます。田んぼの仕事は朝早く、4時や5時頃から始まります。中でも苗引きは、水がとて冷たく、時々手を休めながらだったという話も聞きます。植える時期が集中してしまうので、もちろん家族だけでは人手が足りず、隣近所、本家、分家、知人など、みんなでの共同作業で行う「結い!」でした。調べてみると、結いとは「結び合う、一結にまとめる」とあります。昔の人、否、現在も互いに心を通じ合い、一緒に事をまとめ合う事がいかに大切な事であるかと思い、そして信じていたいと思っています。

話を戻せば、朝ご飯を食べて、ここからが本番の田植えです。薄く水を張った苗代には縦30cm横15cmにすじ引きがされていて、そこに苗を丁寧に植えていくのです。

秋に豊かに実った稲穂が風に揺られて綺麗に見えるのはその為だろうと思います。子ども達も苗ぶちとして手伝います。昼食はみんなで輪になって食べて、長靴をはいたままの人もいたような気がします。

小昼食(こじはん)も楽しみの一つでした。田植えが終われば馬鍬洗(まがれ)をしてひと息ついて、暑い中田車をかけて、家族全員での稲刈りをして、脱穀ともみすりをして藁を片付けて、やっと本当の収穫です。どんなにか根気のいる仕事で、どんなにか大変な作業続きたろうと思います。

でもそれも懐かしく、1年を通しての喜びだったんだと思います。懐かしいと思うのは、大震災を経験してそんな情景を見る事ができなくなってしまったせいなのだろうか?これから子ども、孫達が、ふるりの風景を大事に、大切に想えるような、そんな飯館村であってほしいと信じ願っています。



高野森夫さん・博文さん 飼料用米多収コンテストで全国表彰

高野森夫さん（関沢）と息子の博文さんが、農林水産省などが主催する『令和5年度飼料用米多収日本一コンテスト』の「地域の平均単収から増収の部」で全国農業協同組合連合会中央会長賞を受賞。同省（東京都千代田区）で開催された表彰式で賞状と盾を授与されました。

東日本大震災では消防職員として任務に追われた森夫さん。3世代家族は親族などを頼ってバラバラに避難しました。森夫さんは定年退職後に避難先の福島市で食用米の栽培を始め、現

地で村の小学生の田植え体験なども受け入れました。転機は平成30年。地元のJAの勧めで飼料用米「ふくひびき」の栽培を村内でスタート。年々面積を拡大し、令和5年には10年契約で農地中間管理機構からも農地を借り受け、当初の約15倍、16・1haに作付けしました。

田には毎年稲わらをすき込み鉄コーティングされた種もみを丁寧に直播。播種時の施肥、背負い動力散布器による追肥も行い、10aあたり741kgの多

収を実現。ドローンを所有し除草剤散布を行うなど省力化にも取り組んでいます。

農繁期、埼玉県で暮らす博文さん夫婦は週末ごとに村に通い農作業に励みます。博文さんの子ども達もことあるごとに村を訪れていて、中でも村が大好きな次女の双葉さんは、この地で営農する夢を抱き、両親の母校である東京農業大学に進学しているそうです。



受賞報告に来庁した森夫さん。まδειな仕事の原動力は「よりよい暮らしがしたいと願うこと」だそう。賞状と盾に親子2代の名前が記されています。



森夫さんと博文さん・友紀さん夫婦。「いずれは戻ってやるつもりです」「体は疲れても、この景色と空気ですリフレッシュしています」。

〈編集後記〉

広報いいたてを読んだくたさる皆様、はじめまして。令和6年度より広報担当となりました、巻野と申します。今年度が始まってから早1か月が経ち、慣れないカメラ操作と取材に苦闘しておりますが、村民の皆様を直接見て、皆様にお伝えするとう大切な仕事にやりがいを感じております。これからも、村民の皆様を主役に、飯館村

の今をお届けしてまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。（巻野）桜も椿も水仙も菜の花もとてもきれいに咲きました。春の絵筆の見事な筆さばきにうっとりです。鳥のさえずりも心地よくこのまま外にいたいなあと何度思ったことか。花便りを聞きつけたたくさんの方が村を訪れてくださって人を惹きつけてやまない花の力にも心打たれた春でした。（星）

村からの
お知らせなどが
すぐ分かる





飯館村公式
アカウント

**登録数が500件を
超えました!!**



この春は桜の開花情報も
発信しました。

